

★森のおはなし探検隊★

『はだしでハイク』

はだしで外を歩いて体感してみよう！
草の上や日陰やひなたではどんな風を感じるのかな？

- 開催日時：7月12日(日) 13:00～
- 開催場所：子どもホール
- 参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要

★動物ガイド～サルトーク！★

日替わりで、様々なサルを飼育スタッフが解説します。
これを聞けば、あなたのサルの見方が変わることも間違いなし！

- 開催日時：7月の土日祝日 14:30～14:45
- 開催場所：園内各所サル舎前 ※当日決定します！

サルといって、皆さんは何ザルを思い浮かべるでしょうか？
ひとくちにサルといっても、当園には…フクロテナガザル・ジェフロ
イクモザル・エリマキキツネザル・ワオキツネザル…etc、様々なサ
ルたちがいます。今回の「サルトーク！」では、毎回スタッフが選
んだサルの話をします(ニホンザルは除きます)。

イベント当日は、案内の園内放送をよーく聞いて、開催場所を聞
き逃さないようにね！

1か月の間に、たくさんのおサルさんたちの話が聞けそうです。
ワクワクしちゃいますね！

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

森の仲間たち



いとろづ
到津の森公園
Zoo

「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 8月号 2015年

発行・編集「到津の森公園」「森の仲間たち」15年7月1日発行 通巻149号

動物
たち
に

氷

の
プ
レ
ゼ
ン
ト

今年も夏がやってきました！

7月23日(木)は、二十四節気のうち一年でもっとも暑
いとされる「大暑の日」にあたります。

動物たちにとっても、夏の暑さはつらいもの。

そこで、毎年恒例の『氷』のプレゼントをこの夏も行
います。

氷をもらったサルたちは、どんな反応を見せるでしょ
うか？！

●開催日

7月23日(木) ※大暑の日
7月25日(土)・26日(日)

●時間・動物(各日)

11:00～ ニホンザル
12:30～ チンパンジー

●氷について

中にくだものが入った氷柱と、何も入っていない氷
柱をプレゼントします。氷柱に入るくだものは、バナ
ナ、リンゴ、オレンジなどです。くだもの取ろうとす
るサルたちの様子にご注目ください。

※最大サイズの氷柱のおよその大きさは、25×25×50cm、
重さ約25kgです。

※荒天時は中止になる場合があります。

花暦 文月

そろそろ梅雨も明けるかなと思う頃が、ウバユリ(ユリ科ウバユリ属)の花のシーズンです。樹林の下や谷の斜面など、薄暗く湿った場所に1m近くもすっと立ち上がった茎の上部に、白～薄緑白の大型の花を数個、固まって咲き始めます。

横向きに咲くその花びらは6枚。先端はほんの少ししか開かず、濃い褐色の花粉が花の中にこぼれて、何とも薄気味悪い印象で、同じ時期に咲くカノユリやヤマユリ等の清楚でありながら艶やかなあのユリ科ユリ属の花達とは大違い。

花の咲くころには葉(歯)がないので、姥百合とは有名な説ですが、実際には基部の古い葉は枯れても、長いハート型の葉がたいてい残っているのです。少し気味悪いイメージから、葉が枯れ始めてもなお花が咲き誇る姿を姥桜にちなんで呼んだのでしょうか。

でもこのウバユリは薬用・食用として利用された歴史が知られています。薬用としては解熱剤として用いられたようです。食用としては、私自身母に料理してもらい、食した思い出があります。

春先の茎が立っていない葉だけが茂る株を掘ると、ラッキョウを大きくしたような形で、白く美しいユリ根が現れます。一度湯がいて水にさらし、丸のまま薄甘く煮たもの。大変優しく、滋味深い味わいだったと記憶しています。一度有名な野草料理店の膳で出会いましたが、普通のユリ根とは比べものにならない高価で仕入れているとの事でした。

日の差さない谷合に、案外人目に付きやすい大きな花をつけるウバユリ。薬用だったり食用の他、はじけた果実をつけて、枯れた姿もドライフラワーの花材として、花屋の店頭に並ぶこともあります。

案外人に愛されてきたウバユリを園内野草園に会いにいらして下さい。

文：花咲くおばさん

森のなかま・ワライカワセミ

ワライカワセミ誕生！！

みなさんこんにちは。近頃ワライカワセミが1羽しかいないなあ～と思っていた方もいらっしゃるかもしれませんが、実は5月24日に、無事に2羽のヒナが誕生したのです。

4月の29日と30日にそれぞれ1つずつ産卵し、オスとメス交代での抱卵が始まりました。それから、どちらかが巣箱の中で抱卵していましたので、外にいるのは1羽のみ……。ヒナがかえると、今度はオスとメスが協力しての子育てが始まります。交代でエサを運び、まだ羽毛の生えていないヒナの体が冷えないようにと、どちらかがヒナを抱き暖めます。

常に協力して子育てに励んでいるオス(ファボス)とメス(姫)。最近ではヒナの目も開き、羽毛も徐々に生えそろってきましたので、再びファボスと姫が仲良く運動場にいる姿が見られるようになりました。2羽のヒナが巣立つ日が近づいてきています。間もなく家族そろって運動場で過ごす姿が見られる予定ですので、楽しみに待っていてくださいね。



飼育展示係 小林 弥生